

事業評価シート

事務事業名	確かな学力定着事業	担当課名	学務課
総合計画の 主要施策名	「確かな学力」を身に付けた子どもの育成	班 名	学務班
		事業コード	4221

事業の目的	「確かな学力」を育成し、個性と創造力豊かな児童生徒を育成する。			
事業の内容	基礎学力の定着度調査、学習を計画的に進めるための客観的資料となる検査、生活支援を要する子どもへの支援員配置、複式授業解消のための講師配置。			
事業の対象	町内小中学校児童生徒			
事業費	年度・区分	平成20年度決算	平成21年度決算	平成22年度予算
	金額	28,468 千円	25,954 千円	- 千円

事業の効果等	学力検査等 国語と算数の学力検査・・・全小学校1,2,3年生 知能検査・・・全小学校2,5年生 全中学校1年生			
	発達障害や語学力不足、複式授業の解消など教育上の特別な支援を要する児童生徒が在籍する町内の小中学校の要望に応じ、生活支援員及び臨時講師を配置し学校の円滑な運営を図った。 生活支援員の配置・・・15人(小学校9人、中学校6人) 複式授業解消臨時講師配置・・・1人(六郷東根小学校)			

事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)			
	増加	横ばい	減少	かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	十分寄与する	概ね寄与する	あまり寄与していない	できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
内部評価	B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている		
判定説明 及び考察	町民の学力向上への期待は非常に大きい。特別な支援、個別的な学習や学校生活の支援が必要な子どもが各学校に在籍しており、個に応じた指導を行うなど、今後も積極的に事業を展開していきたい。なお、平成22年度には、六郷小学校統合により複式授業は解消。また、事業費も「学校生活支援員配置事業」と「学力定着度調査」に分かれて予算配置される。			
事業の 方向性	さらに重点化する 事業の縮小を検討する	現状のまま継続する 休止、廃止を検討する	見直しのうえ継続する	

外部評価	A	評価委員意見	町教育委員会の学力向上への取り組みは充実しており、事業効果も高い。よって評価を「A」とする。
------	----------	--------	--